

北港テクノポート線建設事業に係る

事後調査報告書

(令和3年4月～令和4年3月)

株式会社 大阪港トランスポートシステム
大 阪 市

目 次

1. 事業者の氏名及び住所	1
2. 対象事業の名称	1
3. 対象事業の実施状況	1
4. 事後調査項目及び手法	4
(1) 調査項目	4
(2) 調査内容	5
5. 事後調査結果	7
(1) 大気質	7
(2) 交通量（車両運行台数）	8
(3) 水質	9
(4) 地盤沈下	12
(5) 廃棄物・発生土	13
6. 保全対策の履行状況	14
7. 市長の意見に対する都市計画決定権者の見解及び履行状況	17

1. 事業者の氏名及び住所

名称 株式会社 大阪港トランスポートシステム (OTS)
 氏名 代表取締役 藪内 弘
 所在地 〒559-0034 大阪市住之江区南港東4丁目10番108号

名称 大阪市
 氏名 大阪港港湾管理者 (代表者 大阪市長) 松井 一郎
 所在地 〒530-8201 大阪市北区中之島1丁目3番20号

2. 対象事業の名称

北港テクノポート線建設事業

3. 対象事業の実施状況

北港テクノポート線の路線計画は、大阪市此花区北港2丁目を起点に舞洲、夢洲を経由し、住之江区南港北1丁目に至る路線で、建設延長は7.2kmである (図1参照)。

令和3年度においては、夢洲地区における開削工事、躯体構築工事、地中障害物撤去工事を実施した (図1参照)。

令和3年度における工事の概要 (グレー網掛け部分) 及び工事の実施状況は次に示すとおりである。

工事の概要

	箇所	主な工法	令和3年度の工種
咲洲地区	増設部	オープンカット	
	鉄道単独部		
	道路・鉄道併設部	オープンカット	
海底部	沈埋トンネル部	沈埋	
夢洲地区	道路・鉄道併設部	オープンカット	
	シールドトンネル	シールド	地中障害撤去 既設立坑側作業
	夢洲駅 (2階層)	オープンカット	地盤改良工 掘削工、躯体工
	開削トンネル (引込部)	オープンカット	地盤改良工 掘削工、躯体工
	車庫部	オープンカット	
舞洲地区	シールドトンネル (夢洲駅~舞洲駅)	シールド	
	舞洲駅 (3階層)	オープンカット	
	シールドトンネル (舞洲駅~新桜島駅)	シールド	
此花地区	開削トンネル (渡り線部)	オープンカット	
	新桜島駅 (2階層)	オープンカット	

	: 工事完了済み
	: 着手済み (現在工事中)
	: 未着手

注1. オープンカット工法 (駅部) の工種: 準備工、土留工、掘削工、躯体工、埋戻工、道路復旧工

注2. シールド工法 (線路部) の工種: 準備工、掘削・覆工、コンクリート打設工

注3. 沈埋工法 (線路部) の工種: トレンチ浚渫工、基礎砕石工、曳航・沈設工、埋戻工

注4. その他: トンネル隔壁等工事として、咲洲地区 (道路、鉄道併設部)、海底部 (沈埋トンネル部) 夢洲地区 (道路・鉄道併設部) において、上記工事の概要の工法には当たらないトンネル内部の設備関係の工事を実施

令和3年度における工事の実施状況

主な工種	主な施工機械	令和3年										令和4年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
地盤改良工	バックホウ、クレーン等	◎												
掘削工	バックホウ、クレーン等	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
躯体工	バックホウ、クレーン等							◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
地中障害物撤去	バックホウ、クレーン等					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
既設立坑側作業	バックホウ、クレーン等					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
調査時期	大気質	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	交通量			◎				◎			◎			◎
	水質	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	地盤沈下	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
	廃棄物・発生土 (建設発生土)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

注1. 交通量の調査は、年間を通し交通量が多くなると予想される時期に合わせて調査を行った。

注2. 地盤沈下の調査は、掘削工事で掘削を行っている期間を対象に調査を行った。

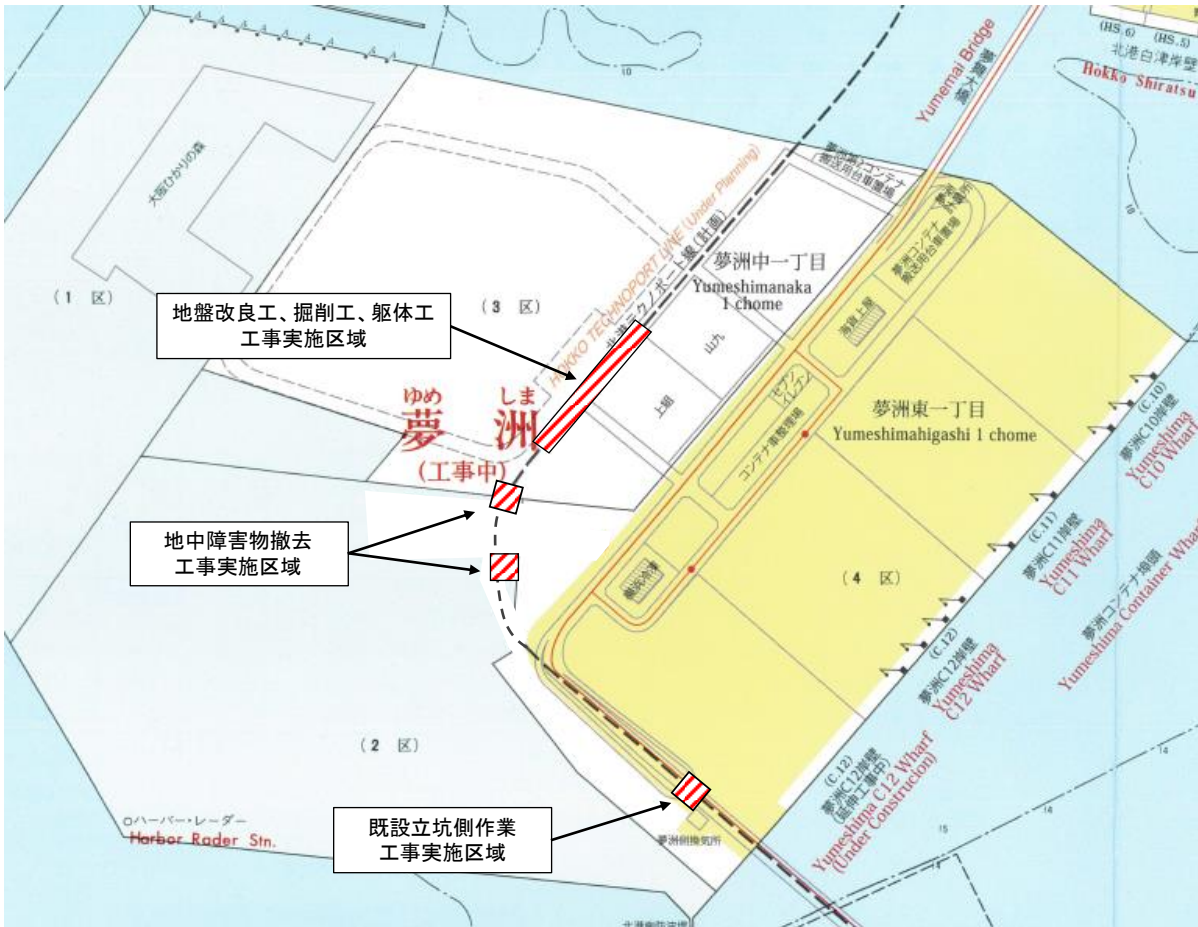


図1 工事実施区域

4. 事後調査項目及び手法

(1) 調査項目

建設工事中の環境への影響を把握するために、以下に示す項目の調査を実施した。

調査項目		建設工事中
		陸域工事
大気質 (NO _x 、NO ₂ 、SO ₂ 、SPM)		○
工事用車両運行台数		○
水質	陸域 (水質汚濁防止法に定める項目)	○
地盤沈下		○
廃棄物、発生土		○

注1. 令和2年度から陸域工事のみ行っているため、海域工事の調査項目については下表に記載。

なお、以下の項目については、令和3年度における工事の実施状況に照らし、適用外であることから、調査は行わないものとした。

調査項目		建設工事中		適用
		海域工事	陸域工事	
大気質 (NO _x 、NO ₂ 、SO ₂ 、SPM)		○	—	工事中
水質	海域 (濁度)	○	—	沈埋工事中*1
騒音、低周波空気振動		○	○	騒音：新桜島、舞洲、咲洲の工事中 (オープンカット工法) 並びに夜間工事中*2 低周波空気振動：沈埋工事の大型作業船稼働中
振動		—	○	新桜島、舞洲、咲洲の工事中 (オープンカット工法)
動物・植物・鳥類・生態系		○	—	沈埋工事中

注1. 濁度調査は、濁りの発生が考えられる沈埋工事 (埋戻工、床掘工) や咲洲地区の護岸復旧工事 (基礎工事、本体工、裏込・裏埋工) の作業中に適用。

なお、沈埋工事、咲洲地区の護岸復旧工事は平成19年に完了している。

注2. 夜間騒音の調査地点は咲洲内の2地点 (大阪南港野鳥園、南港中5丁目付近) であり、事後調査の対象となる夜間工事は基本的には沈埋工事である。

(2) 調査内容

各調査項目における、調査日時、調査頻度、調査時期、調査方法、調査地点は、以下に示すとおりである。また、調査地点に関しては、**図2**に詳細を示した。

区分	調査項目	調査日時	調査頻度	調査時期	調査方法	調査地点
①大気質	二酸化硫黄(SO ₂)、 二酸化窒素(NO ₂)、 窒素酸化物(NO _x)、 浮遊粒子状物質 (SPM)	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	常時	工事中	環境基準に定める方法	南港中央公園の1地点
②交通量	工事用車両運行台数	① 令和3年6月21日 ② 令和3年9月15日 ③ 令和3年12月13日 ④ 令和4年3月8日	4回/年	工事中	工事区域出入台数の計測	(仮称)夢洲駅建設工事区域(夢洲3区)
③水質	水質汚濁防止法に定める項目	・ 駅舎部 ① 令和3年4月7日 ② 令和3年5月7日 ③ 令和3年6月2日 ④ 令和3年7月9日 ⑤ 令和3年8月4日 ⑥ 令和3年9月1日 ⑦ 令和3年10月6日 ⑧ 令和3年11月4日 ⑨ 令和3年12月8日 ⑩ 令和4年1月5日 ⑪ 令和4年2月3日 ⑫ 令和4年3月2日 ・ 既設立坑部 ① 令和3年12月20日 ② 令和4年1月5日 ③ 令和4年2月3日 ④ 令和4年3月2日	1回/月	工事排水を放流する期間	採水分析	公共用水域に放流する2地点(雨水管に接続する地点)
④地盤沈下	沈下量	① 令和3年4月20日 ② 令和3年5月20日 ③ 令和3年6月18日 ④ 令和3年7月19日 ⑤ 令和3年8月20日 ⑥ 令和3年9月18日 ⑦ 令和3年10月18日 ⑧ 令和3年11月18日	1回/月	開削工事で掘削を行っている期間	水準測量	(仮称)夢洲駅(開削部)の1地点
⑤廃棄物・発生土	建設発生土の発生量及び搬出量	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	全量調査	工事中	土量計測	(仮称)夢洲駅建設工事区域(夢洲3区)

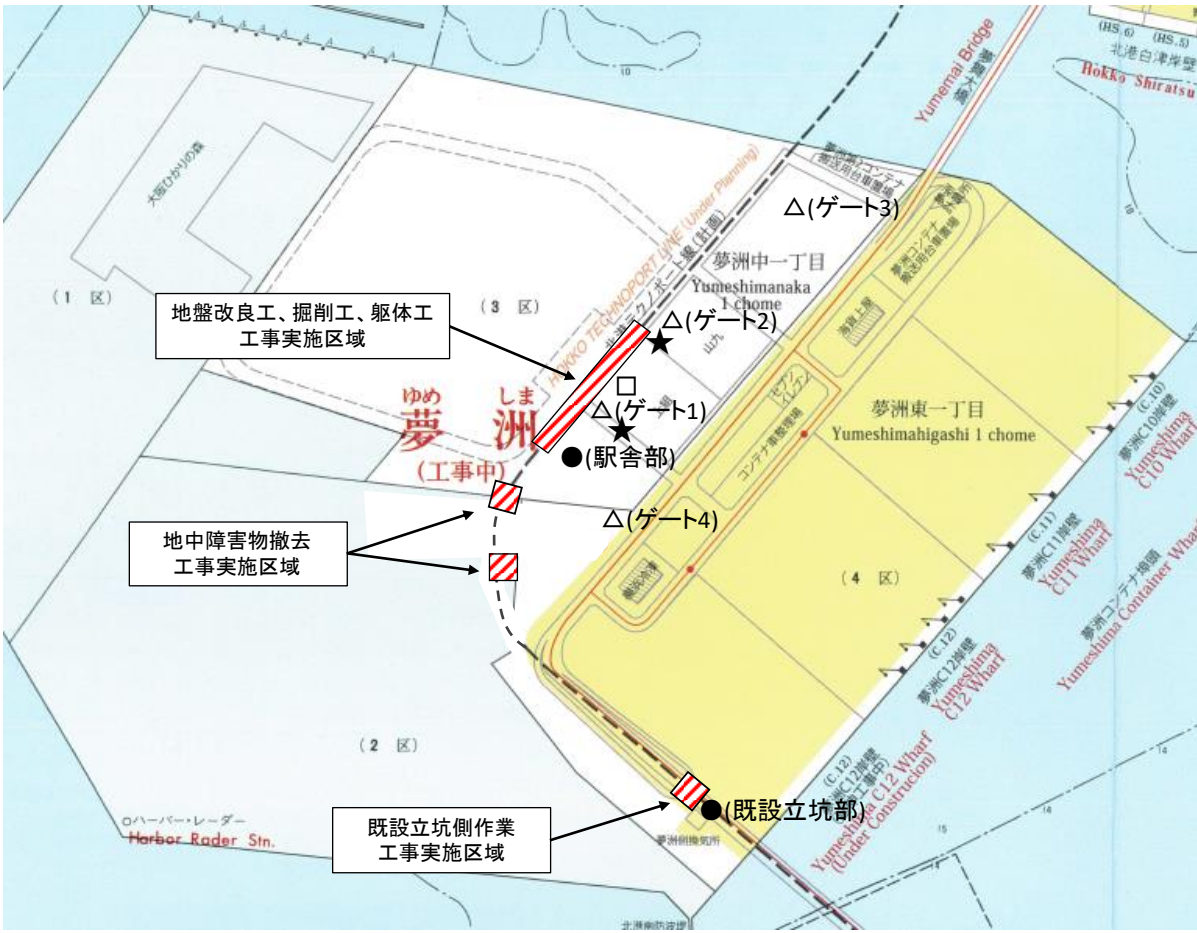
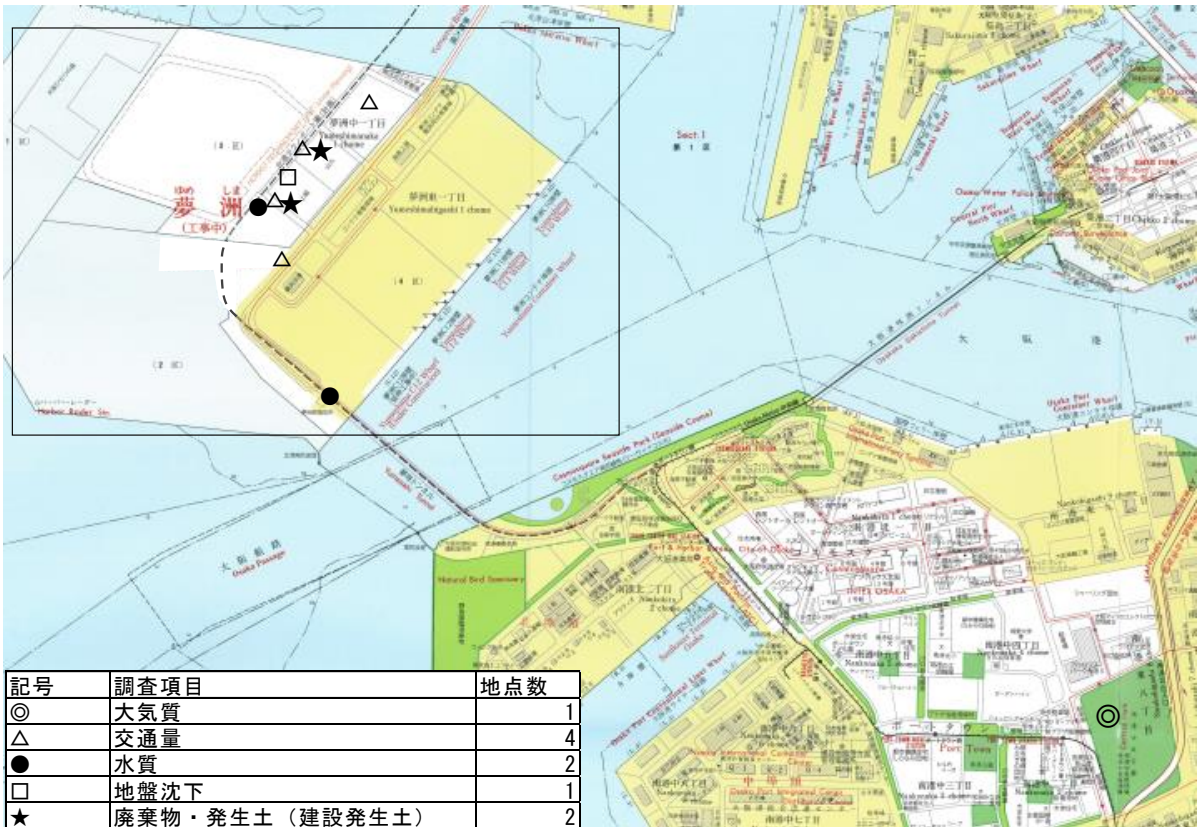


図2 調査地点位置概要図